

福岡県・デリー州 友好提携5周年記念事業について

福岡県新社会推進部国際交流局交流第二課

はじめに

福岡県は「アジアとともに発展する交流拠点の形成」を基本目標として、国際交流に取り組んでいます。それまで継続的な交流を行ってきた中国、韓国に加え、成長著しいアジア諸地域との多様な交流を行い、共に発展する関係を築き上げるために、東南アジアや南アジアとの交流を推進することにしました。そこで、2006年にタイ・バンコク都と友好提携を締結したのに続き、2007年3月5日に、10億人を超える人口規模を有し、経済成長著しいインドの首都があるデリー州との間で友好提携を締結しました。

そして、2012年で5周年を迎えるにあたり、同年11月に知事を代表とし49人から成る訪問団がデリー州を訪れ、記念事業を実施しました。

覚書の調印

本団はまずデリー州政府を訪れ、シーラ・ディクシット首席大臣と会談し、地域間同士の交流が二国間関係の基礎であり、重要であるという共通認識の下、友好提携を延長し、幅広い分野での交流を推進することで合意しました。

その合意を受け、その日の夜、在インド日本国大使公邸で開催した記念レセプションの冒頭において、小川洋知事とシーラ・ディクシット首席大臣が、八木毅駐インド日本国特命全権大使の立会いの下、友好提携の期間延長の覚書を取り交わしました。

レセプションの会場では、伝統工芸品を展示し、福岡県の地酒や銘菓を振る舞って、福岡県のPRを行いました。



友好提携覚書調印式

福岡県ビジネスプロモーション

インドは経済成長著しく、市場としての将来性が高いことから、県内の経済団体や企業に訪問團に加わっていただき、経済交流を強化することにしました。

まず、デリー州郊外にある日系メーカーの工場や、インド商工会議所連合会等のインドの経済団体を訪問し、インドのビジネス環境について調査、意見交換を行いました。

その後、ホテルのホールでビジネスプロモーションを開催し、県内企業7社が自社の製品や技



福岡県ビジネスプロモーションでプレゼンテーションする県内企業

術についてプレゼンテーションを行った後、商談会を行いました。

会場にはインド企業、関係者など約160人が来場し、熱心にプレゼンテーションに聴き入っていました。

商談会では、その場で成約に至ることはありませんでしたが、出展企業からはインド市場への足掛かりをつかむことができたとの感想をいただきました。

福岡留学フェア

福岡県内の留学生数は東京、大阪に次いで全国三番目に多いのですが、残念ながらインドからの留学生は10人前後にとどまっています。そこで、インドから福岡県への留学生を増やすため、これまで4回にわたって留学説明会を開催してきました。留学説明会に参加した学生が、実際福岡県に留学するなど、着実に成果を挙げています。

5周年を迎えた2012年も、記念事業の一環として、「福岡留学フェア」を開催しました。

今回は県内の4つの大学、2つの日本語学校が参加し、それぞれの学校の特色や留学支援制度を来場者に説明しました。また、大使館の協力を得て、国費留学制度についての説明も行いました。



福岡留学フェアにおける個別相談会の様子

留学フェアに先立って、デリー大学やネルー大学等を訪問し、インドにおける日本語学習事情や海外への留学状況についてヒアリングを行いました。

文化交流

ニューデリー国立博物館、タージ博物館、インド国立現代美術館を訪問し、館長等と会談して、将来の文化交流の可能性について協議しました。タージ博物館では、写真原版の保存、修復についての支援要請があり、今後協議を行っていくことにしました。

おわりに

前述の記念事業以外にも、イベントとして、在インド日本大使館との共催で「福岡／九州映画祭」を開催し、福岡の観光PRを行いました。

また、2013年1月には、福岡市においてインドの社会や文化を紹介する「インドフェア」を開催し、ヴィカース・スワループ在大阪・神戸インド総領事の講演やインド古典音楽の演奏を行いました。



「インドフェア」で講演するヴィカース・スワループ在大阪・神戸インド総領事

これら一連の記念事業を実施したことにより、インドにおける福岡県の知名度が向上し、経済、文化、教育等幅広い分野における将来的な交流促進につながる成果を得ることができました。

今後も地道な相互交流を続け、デリー州ひいてはインドとの友好関係を深めていきたいと考えています。